

学 会 記 事

◎定例常議員会(37.5.23)出席者:永田会長, ほか常議員38名(委任状をふくむ)。議事:尾之内, 末森(専務)理事より説明があり議案1)~6)につき次のとおり承認した。議案1)37年度改選理事の投票を開票の結果, 次のとおり決定した。

会 長	藤井松太郎	副会長	岡本舜三
理 事	大石 勇	理 事	渡辺新三
"	竹ヶ原 輔之夫	"	岡部 保
"	三野 定	"	田中五郎
"	岡本東一郎		

2) 昭和36年度事業報告承認。3) 昭和36年度決算報告承認。
4) 名誉員推挙について承認。5) 土木賞の授賞承認。6) 吉田賞および吉田研究奨励金の授与承認。

◎各種委員会

(1) トンネル工学幹事会(37.5.19)出席者:加納幹事長, ほか幹事5名。議事:1) トンネル工学シンポジウムについて。2) テキストの広告の件。3) トンネル標準示方様書の作成方針の件。

(2) 第3回トンネル工学委員会(37.5.21)出席者:藤井委員長, 加納幹事長, ほか委員12名, 幹事5名。議事:1) トンネル工学標準示方様書の作成方針について。2) 第1回トンネル工学シンポジウムの開催について。3) 第2回シンポジウムの計画について。4) 運営資金の収集について。5) その他。

(3) 本州四国連絡橋技術調査委員会(37.5.21)出席者:田中委員長, ほか委員17名, 幹事および関係者14名。議事:1) 開会の辞。2) 委員長挨拶。3) 専門部会の経過報告。4) 36年度の調査経過。5) 37年度の調査計画。6) 上部構造に関する専門部会の設置について。7) 37年度委員会の実行計画。

(4) 本州四国連絡橋技術調査委員会基礎に関する専門部会(37.5.22)出席者:委員17名, 建設省側幹事9名, 国鉄側幹事7名, ほか関係者2名。議事:1) 部会長挨拶。2) 37年度調査計画。3) 37年度専門部会の実施計画および基礎の調査方法について。4) 米國, カナダの長大橋についての講演 建設省土木研究所 高田孝信氏。5) その他。

(5) 第6回論文集部会長会(37.5.22)出席者:丸安委員長, 山川, 林新田副委員長, ほか部会長および委員11名。議事:1)

各部会報告。2) 論文集第83号(7月発行), 第84号(8月発行)登載原稿について。3) 著者負担論文で30ページを超えた論文の取り扱いについて。4) 新委員会への送り事項について。5) 37年度副委員長に山川尚典氏を決定。6) その他。

(6) 第12回会誌編集委員会(37.5.25)出席者:堺副委員長, ほか委員15名。議事:1) 投稿原稿の審査報告。2) 新規受付原稿について。3) 47巻7号編集について。4) 編集委員交代について。5) 新委員会への引き継ぎ事項について。6) 新規依頼原稿について。7) その他。

(7) コンクリート委員会(37.5.25)出席者:国分委員長, ほか委員21名, 幹事6名。議事:1) 改訂原案の討議。2) 今後の運営方法。3) 新委員追加の件・運輸省民鉄から1名および, 後藤幸正氏(東北大)。4) コンクリート・ライブラリーの件。

(8) 水理委員会幹事会(37.5.25)出席者:横田委員長, ほか委員11名。議事:1) 水理講演会開催の件, 特に講演集の様式の件。2) 地区選出幹事追加の件。3) 水理研究会会費徴収状況および会員に対する措地について。4) その他。

(9) 第1回水理公式集改訂委員会(37.5.25)出席者:横田委員長, 伊藤水理委員会委員長, 河川編・吉川主査, ほか委員7名, 発電水力編・林主査, ほか委員5名, 上下水道編・久保主査, ほか委員7名, 港湾編・岩佐主査, ほか委員8名。議事:1) 伊藤水理委員会委員長挨拶。2) 横田委員長より, 水理公式集改訂委員会発足に当たり, 挨拶。3) 各編ごとの分科会に分れ, 改訂内容の具体的な討議, 担当執筆委員のわりふりなどについて協議。4) 各編に共通な改訂方針の合理的な問題点, 委員会の運営方針などに関しては6月に主査幹事会を開いて協議することにした。

(10) トンネル工学委員会に関する分科会(37.5.28)出席者:村山主査, ほか委員および幹事5名。議事:1) 調査に関する事項の項目案の検討。2) その他。

(11) PC鋼材分科会(37.5.29)出席者:富田主査, ほか委員および幹事11名, 関係者3名。議事:1) PC鋼材の引張試験 F.I.P-RILEM の検討。2) 腐食の問題について。3) 鋼より線曲げ引張線の報告。4) その他。

(12) 本州四国連絡橋技術調査委員会基礎に関する専門部会幹事会(37.5.30)出席者:建設省側幹事5名, 国鉄側幹事5名。議事:1) 部会長の代理について。2) 次回部会について。3) 次回幹事会について。4) その他。

編	集
後	記

7月号に例年のとおり総会と年次学術講演会の特集とし東京大会特集号という形で編集してみました。あえて東京大会という表現を用いたのは, 来年は関西支部, 再来年は東北支部というようにこれから大会を毎年各支部へ移動させようという動きがあるからです。年次学術講演会を総会と切離して実施するとか, 年2回くらい開くとか, いろいろ検討してみたい問題がありますので, 研究委員会を作る予定ですが何か参考になる御意見を頂戴できれば幸いです。

7月から八十島新委員長をむかえて, 新しいメンバーでよりよい会誌を作るために編集部一同大いに頑張るつもりであります。宿題は山ほどありますが, とにかく内容の豊富な親しめる会誌を, スピーディーに造り上げることが当面の責務と考えております。発行日を少しずつくり上げて, 12月頃までには前月発行の線にもってゆき, 「月おくれ」の汚名をそそぎたいものと

伏慮しております。

月刊の学会誌, 月刊の論文集, トンネル工学シリーズ, 夏期講習会テキスト, 海岸工学講演集, コンクリート・ライブラリー, 欧文年報など, 息つくひまもないぎっしりとしたスケジュールにわずか4名という小部屋の編集事務スタッフは残業につぐ残業で夏季休暇どころではありません。若手の優秀な人を養成したいと学会誌へも募集広告してみました, ほとんど反響がありません。どなたかお心あたりの青年を御世話いただけませんか。高校卒でも夜間通学して頂くよう考えております。

いよいよ夏, オリンピックを2年後にひかえて東京の道路, 地下鉄工事は急ピッチで進められていますが, 事故の数もうなぎ上りのようです。災害防止について細心の注意を払っていただきたく会員各位の御協力を切望いたします。8月号は8月15日ごろまでにはお手許へ届くよう努力いたします。

【事務局編集課 岡本・記】

昭和37年7月10日印刷

昭和37年7月15日発行

土木学会誌 第47巻 第7号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 末森猛雄

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円(送料15円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番